

普通は大きな一歩

「今日はどこ行きたい？」と聞くと「静鉄バスと静鉄電車乗る！」と会話を出来る事が今では普通の事です。

産まれてからは、音に敏感で少しの物音で起きてしまったり外では全然寝ませんでした。離乳食も始めたのは良いが全然食べてくれず今でも決まった物しか食べられません。

1歳半健診では発達、発語の遅れを指摘され親子教室を紹介されました。行ってみると同年代のお友達が音楽に合わせて動いたり、集中して先生が読んでくれる本を聞いていたり、その間ドアの前で帰りたいと泣く我が子・・・その時から発達障害についてちゃんと向き合おうと心に決めました。

親子教室で療育センターへの受診をすすめられすぐ受診しました。ここではKがすんなりお部屋に入れた事そんな1つ1つの事も「すごい！」と褒めてくれる先生の姿を見て出来ない事はすっかりに目が行き不安になっていった自分に反省しました。

そしていよいよ幼稚園の入園準備になり、私達の希望は、発達が遅れている事は承知の上でしたが普通の園へ通わせる事でした。近所の園や少し遠方の園へKと行き断られる度に心が折れて行きこの期間は泣く日々が続いた事を覚えています。それでも色々な可能性に掛けて加配付きの園へ行きました。希望も虚しく希望は無くなりました。でもやる事は全てやった上での結果でいいこの家への入園の際にやっとちゃんと出た「自閉症スペクトラム」という診断名を聞きスッキリしました。

いこいの家への入園後は、「赤・青」しか言えなかったKが自分の気持ちを伝えたり、お友達の名前を言ったり、バスや電車のアナウンスも完コピ！おトイレもお昼はほぼパンツ生活でいけるようになりました。偏食はまだまだ同じ物しか食べませんが色々な食材に触れてみたり「食べしてみる！」と言ってくれるようになりました。

出来ない事に不安がないと言ったら嘘になりますが、Kのおかげで「普通」がどれだけ恵まれているかに気づき、ほんの少しの成長でも喜べるようになりました。

いこいの家でKに関わって下さる皆様に感謝しかありません。年長さんのあと1年楽しく過ごしたくさんの思い出を作って小学校へ向けても頑張っていこうね。

Kくん（五歳）のお母さん

